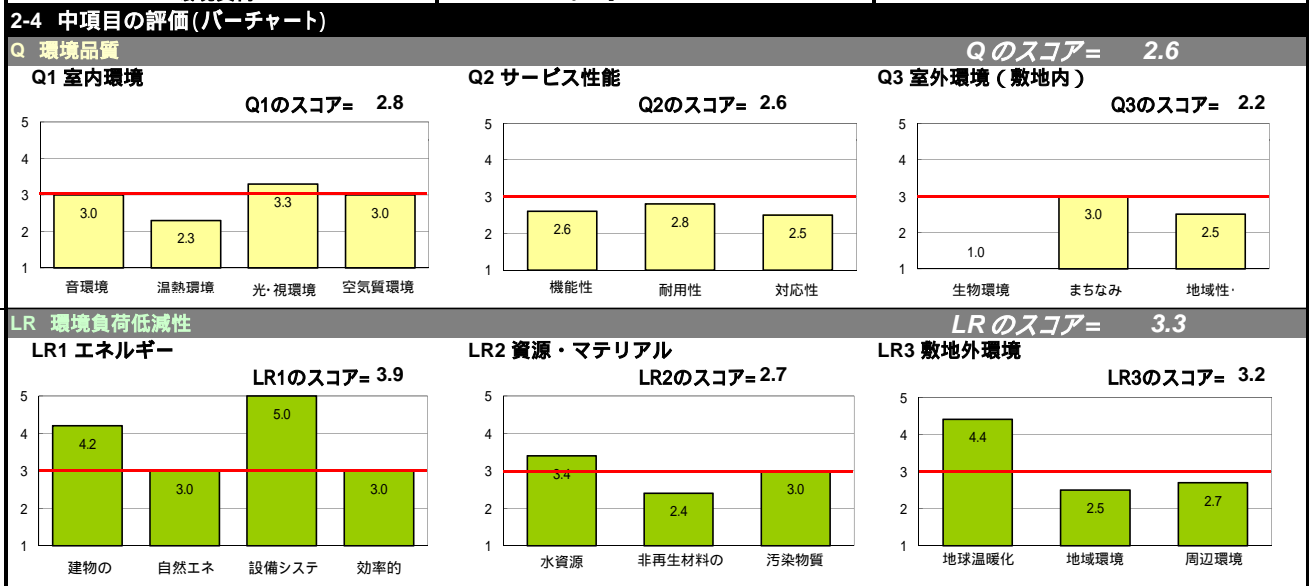
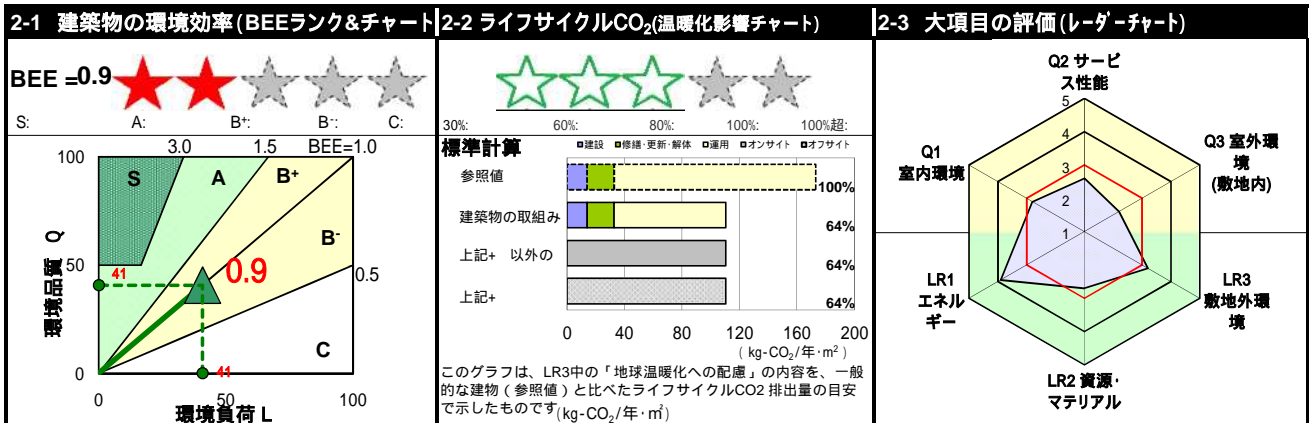


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢駅南口プロジェクト	階数	地上9F
建設地	神奈川県藤沢市南藤沢2-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2014年4月1日
敷地面積	615 m ²	作成者	株式会社INA新建築研究所
建築面積	452 m ²	確認日	2014年4月1日
延床面積	3,177 m ²	確認者	株式会社INA新建築研究所

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
本計画地はJR藤沢駅及び小田急電鉄藤沢駅に隣接し、ビジネスユーザーだけでなく観光客の施設利用が予想される為、シングルルーム・ユニバーサルルームに加えツインルームを擁しビジネス、観光の両面で利用して頂けるホテルとして計画しています。	湘南藤沢に相応しい、海をイメージする景観とすべく、ボーダー、サンドページュのタイル、岩肌の石材などを採用した。また、交差点に面して植栽を配し、地域環境の向上に寄与する。
Q1 室内環境 線路に隣接しているため、騒音対策として客室外壁に給排気口を設けず、共用廊下外壁からの排気、バスタクト給気を計画している。	Q3 室外環境(敷地内) 駅前商業地域のまちなみに配慮し、都市的な景観を形成する。
LR1 エネルギー 共用部にLED照明を採用し、省エネルギー化を図っている。ルームエアコンの採用により、各客室毎の個別運転管理としている。共用部は全熱交換器により排気熱利用の換気システムとした。	LR3 敷地外環境 雨水浸透枳の設置による雨水流出抑制対策をしている。
Q2 サービス性能 共用ロビーの仕上げに自然素材を多用するなど、安らぎとグレード感を演出する。	
LR2 資源・マテリアル 省水型機器の採用により節水に努める。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される